第56回日本眼光学学会総会
スポンサードセミナー1

Alcon

日時：2020年9月5日(土)9：00～9月22日(火･祝)23：00 ※予定
会場：Web開催　https://www.56jsoo.com/

次世代の Cataract Refractive Surgeryを探る

座長
北里大学
川守田 拓志先生

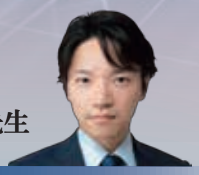
東京医療センター
野田 徹先生

演者1
santec株式会社
こうしてARGOS™は生まれた

演者2
大阪大学
後藤 聡先生

眼軸長測定の従来法とセグメント方式の違い

演者3
北里大学
川守田 拓志先生



PanOptix®の光学特性と中間距離が見えることの重要性

近年、白内障手術は屈折白内障手術と言われ、より高い精度と満足度が求められるため、眼軸長の測定や眼内レンズ度数計算式、そして眼内レンズの特性をよく理解することが極めて重要となる。つまり眼球光学系の特性や測定原理をより理解することで、測定の正確さや再現性の向上、良好な手術成績につなげることが可能となる。本セミナーでは，次世代のCataract Refractive Surgeryを探るため、セグメント方式による眼軸長測定機器の開発経緯、進化する眼内レンズ度数計算式、そして三焦点眼内レンズの光学特性を知り、中間距離の光学特性を高めることの重要性についてクリアカットに示していく。

共催：第56回日本眼光学学会総会／日本アルコン株式会社

SMS316-1
2009TNK
JP-ACP-2000038